

写真で見る 2019 年度「かがわ国際ボランティア未来塾」



8月12日（月）
ビエンチャン空港に元気に到着。高松を出てから15時間。



8月13日（火）
ビエンチャンのホテルの前で。さあ、活動開始。



8月13日（火）
ポンタン高校で、練習を積み重ねたソーラン節の踊りを披露。



8月13日（火）
ポンタン高校生によるラオスの民族舞踊の輪に入る。



8月13日（火）
ポンタン高校生との意見交換が始まる。最初は緊張気味。



8月13日（火）
意見交換が始まれば、高校生に笑顔が出てきた。



8月13日（火）
ラオスの高校生が、夢をしっかりと持っていることに感心。



8月13日（火）
昼食は、美味しいラオス名物バゲットサンドイッチ。



8月13日（火）
ビエンチャンの中心に、パリの凱旋門があった。



8月13日（火）
午後はビエンチャン観光。夕食は中華料理。本格的な辛さだった。



8月14日（水）
ラオス大学日本センターで学ぶ学生との日本語での意見交換。



8月14日（水）
ラオス大学日本センターの玄関で、参加者全員の記念撮影



8月14日（水）
1か月前に世界遺産に指定された、巨大石壺のジャール平原。



8月14日（水）
のどかなジャール平原。ここにもかつて多くの爆弾が落とされた。



8月15日（木）
外国人に出会うのは初めてのホアイホーム小学校の子供たち。



8月15日（木）
高校生から子供たちに、絵本や文房具、ボールなどをプレゼント。



8月15日（木）
村人の昼食のふるまいに、我々は手づかみでご馳走になる。



8月15日（木）
子供たちに、日本のソーラン節の踊りを披露する。



8月15日(木)
子供たちに、日本の遊び「福笑い」を楽しんでもらった。



8月15日(木)
子供たちは興味津々で、互いに譲り合いながら、仲良く遊んだ。



8月15日(木)
青年海外協力隊員(看護師)が活躍する
シェンクワン県病院。



8月16日(金)
シェンクワン不発弾処理センターで、爆弾
の怖さを体感。



8月17日(土)
もっと滞在したかった。思い出を胸にビエン
チャン空港出発。



8月18日(日)
本当に充実したラオス訪問を終え、関西空
港に無事帰着。